

施策番号	0903		
施策名	国際MICE都市～国際会議、企業研修旅行、イベント等による国際集客都市～への飛躍		
概要	MICEの誘致・振興は、京都ブランド・都市格の向上、市民生活の活性化、経済効果など、社会的及び経済的両面において京都の都市活力を支え、向上させるものであるとともに、京都観光の質の向上に寄与することが期待され、都市戦略として全市を挙げてMICEの誘致・振興に取り組む。		
担当局・部室	産業観光局・観光MICE推進室	共管局・部室	
上位政策	9 観光		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市MICE戦略2020		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	28年度	29年度	30年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1 コンベンション開催件数の世界順位(位)	a	a	44	50	43	83.7%	a	1.00
2 コンベンション参加者数(人)	a	a	202,996	139,102	202,996	68.5%	c	1.00
3 コンベンション外国人参加者比率の国内順位(位)	b	a	1	5	1	-	e	1.00
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
	a	a	客観指標総合評価				c	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	28年度	29年度	30年度回答						
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1 京都は、国際会議などが盛んに開かれるMICE(企業のミーティング、企業研修旅行、国際会議、イベントなどの総称)都市になってきている。	b	b	39 9.4%	169 40.9%	156 37.8%	34 8.2%	15 3.6%	413	b
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
	b	b	市民生活実感調査総合評価					b	

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	c	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 観光客だけでなく市民にとっても満足度の高い観光振興を図ることを目的としており、市民生活実感評価を重視して評価することが妥当であると考えため						29 年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・コンベンション参加者数については、国立京都国際会館のニューホール新築工事に伴う利用制限が影響し、大規模会議の件数が減少した事が原因で大幅に減少している。 ・コンベンション外国人参加者比率の国内順位については、総参加者数、外国人参加者数は過去最高数となり、外国人参加比率も上っているが、他都市の外国人参加比率が上っているため、相対的に順位が降下している。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。						28 年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	コンベンション等MICE推進事業	77,291	88,792	良い	産業観光局
2	グローバルMICE都市としてのMICE戦略推進事業	11,294	10,093	良い	産業観光局
3	MICE戦略2020推進事業	6,603	18,039	良い	産業観光局
4	国立京都国際会館・多目的ホールへの京都市らしい設えの実施と2,500人規模から5,000人規模への拡充整備の促進	69,711	144,360	—	総合企画局
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・平成26年10月に策定した「京都市MICE戦略2020」に基づき、京都文化交流コンベンションビューローと連携のうえ、京都の多様な魅力を活用しながら、開催支援メニューの充実、産学公連携の強化など、主催者が京都を選択しやすい環境を整えることで、京都にふさわしいMICE誘致の強化を図る。

施策名	0903	国際MICE都市～国際会議、企業研修旅行、イベント等による国際集客都市～への飛躍
-----	------	--

指標名	コンベンション開催件数の世界順位（位）	
-----	---------------------	--

担当課	観光MICE推進室	連絡先	746-2255
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

1年間に京都市域内で開催された会議で、日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議件数の世界順位

2 指標の意味

経済、文化、国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：国際会議協会（ICCA）「国際会議開催統計」

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	28年	29年		数値	根拠	達成度
数値	44	50	6位下降	43	平成25年実績（55位）と平成32年度目標値から各年度の目標を等差的に設定（年2.86順位上昇）	83.7%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	35	32年度	57.1%	京都市MICE戦略2020	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高いことや景気動向にも影響を受けるため、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

28	29	30
a	a	a

指標名	コンベンション参加者数（人）	
-----	----------------	--

担当課	観光MICE推進室	連絡先	746-2255
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

1年間に京都市域内で開催された会議で、日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議に参加した人数

2 指標の意味

経済、文化、国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都文化交流コンベンションビューロー「京都開催の国際会議」、日本政府観光局（JNTO）「国際会議統計」

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	28年	29年		数値	根拠	達成度
数値	202,996	139,102	63,894人減	202,996	過去5年間の最高値	68.5%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					数値の公表時期の関係により、評価は暫定値で行う。前回数値については実数に修正している。

5 評価基準

最新の数値が過去5年間の
a：最高以上
b：上中間値（最高値と平均値の中間値）以上～最高値未満
c：平均値以上～上中間値未満
d：下中間値（平均値と最低地の中間値）以上～平均値未満
e：下中間値未満

6 基準説明

各年度の具体的な数値目標の設定が困難であるため、過去5年間の数値の推移で評価する。

最高値 202,996人（平成28年）
平均値 138,929人
最低値 96,020人（平成25年）

7 評価結果

28	29	30
a	a	c

施策名	0903	国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍
-----	------	--

指標名	コンベンション外国人参加者比率の国内順位（位）
-----	-------------------------

担当課	観光MICE推進室	連絡先	746-2255
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

1年間に京都市域内で開催された会議で，日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議に参加した外国人比率の国内主要都市（グローバルMICE戦略都市及び強化都市7都市）順位1位の堅持

2 指標の意味

経済，文化，国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：日本政府観光局（JNTO）「国際会議統計」

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年	28年		数値	根拠	達成度
数値	1	5	4位後退	1	国内主要都市順位1位の堅持	-

	全国順位	中長期目標		
		数値	目標年次	達成度
数値	1	32年度	-	京都市MICE戦略2020

備考	算定に用いるデータの収集期間の関係から，平成28年値が最新となる。
----	-----------------------------------

5 評価基準

最新数値が
a：1位
b：2位
c：3位
d：4位
e：5位以下

6 基準説明

当該指標については，民間部門の寄与度が比較的高く，景気動向にも影響を受けるものの，目標を上回することは不可能ではないため，1位をaとし，以下，bを2位，cを3位，dを4位，eを5位以下とする。

7 評価結果

28	29	30
b	a	e